



諏訪 孝幸

代表取締役

ライオンズクラブ国際協会 332-D 地区
4R-1Z 会津磐梯ライオンズクラブ会員

製造業を手掛ける会社に就職し、キャリアをスタート。その後、縁あって内装工事を行う施工会社に転職し、職人に自身の適性を見出す。以降、「お客様に喜んでいただける仕事を」との思いで直向きに腕を磨き、独立。長年、個人事業主として歩んできたが、信頼できる人物との出会いがあり2016年に法人化を果たし、『スワ企業グループ』を設立した。

培ってきた知見を活かして

顧客に喜ばれる仕事を励行し

地域で一番の存在を目指す

内装工事や住宅リフォーム業をはじめ、外構エクステリア工事一式、店舗デザイン・施工など幅広い建築工事を手掛ける『スワ企業グループ』。多様なインテリア・建材の販売も行っており、顧客の要望に十全に対応している。本日は、そんな同社を村野武範氏が訪問し、諏訪社長にインタビューを行った。

—はじめに、諏訪社長の歩みからお聞かせ下さい。

福島県出身です。学業修了後は地元で製造業を手掛ける会社に就職し、キャリアをスタートさせました。ただ、元々体を動かす仕事が好きだった私は、ルーティンワークな工場での仕事に物足りなさを感じていました。人とのご縁から内装工事を手掛ける会社に転職。数年修業を積んだ後に独立した次第です。

—職人の世界は厳しいと聞いたことがあります。いかがでしたか。

もちろん厳しさはありました。しかし、働き始めてすぐに自分に向いていると感じました。これを生涯の仕事にしたいとも思いましたね。と言うのも、工場だとお客様との関わりはほとんどありませんが、現場だと会話ができますし、自分の仕事で喜んでいただく姿も見られるでしょう。お客様が喜んで下さる、ということが私にとって何よりの励みになったのです。当時は、お客様に喜んでもらう仕事をするために励

み、喜んでもらうとそれを糧にまた励む、という繰り返しで腕を磨いていました。ですから、数年の修業期間はあつという間に過ぎていきましたね。

—「お客様に喜んでもらいたい」という一途な思いが、厳しい修業期間を乗り越える力となっていたのでしょうか。ところで、独立に際しては何かきっかけがあったのでしょうか。

知人から「直接仕事をやってくれないか」と、私個人に向けた依頼が数件来たことがきっかけとなりました。当時お世話になっていた親方のご息子が修業から帰ってくるタイミングだったこともあり、動くなら今だろうと思っていました。チャレンジしてみたい気持ちも募っていったことや、親方に話してみると快諾してもらえたこともあり、独立に踏み切ったのです。それが25歳の時でした。

—若くして独立されたのですね。経営者として歩み出された当初、改めて意識されたことなどはありますか？



● ゲストインタビューアー

村野 武範
(俳優)

「『お客様に喜んでいただける仕事をするために』という思いで、修業時代励んでおられた諏訪社長。お話を伺う中で、現在はその思いに加えて、『共に励む仲間と成長していきたい』という気持ちも強く持っておられることが窺えました。自身と関わる“人”を大事に、事業を推進されている社長なら、これからますます躍進されることでしょう。そんな社長の今後に期待しています！」



トータルプロデュース

株式会社 スワ企業グループ

住宅事業部



スワットホーム
SWATHOME

インテリア事業部 ハビネスインテリア館 (ネットショップ)



福島県会津若松市城東町 14-18 アートマンション 102

URL : <http://www.swathome.jp/>



経営者としての意識はあまりなく、頂戴した一つひとつの仕事を確実にこなし、お客様に喜んでいただける仕事をする事を考えていました。そうして、実直に歩み続ける中で、職人としての技術や知識、経験をさらに深めていき、徐々に信用と実績を積み重ねていったのです。そして気付けば独立から18年以上が経っており、2016年に法人化を果たしました。このことに際しては、信頼できる人物との出会いがあったからこそ、できたことだと思っていますので、人とのご縁に感謝しております。現在、その人は当社の営業企画部長を務めてくれています。

—— そうした良きご縁を得たのは、これまでもずっと社長が直向きに励み続けてきたからだだと、私は思いますよ。では改めて、『スワ企業グループ』さんの業容をお聞かせいただけますか。

内装工事や住宅リフォームをはじめ、新築・注文住宅請負販売、店舗デザイン・施工などを手掛けております。また、インテリアや建材の販売も行っており、お客様のニーズに合わせたものをご用意しておりますので、お気軽にご相談いただければ幸いです。

—— 長年、内装工事に従事してきた社長だからこそ、豊富なノウハウをお持ちでしょうし、お客様は安心して依頼できることでしょうかね。

これまでの道程では、様々なお客様の住まいに対する困り事や悩み事を聞いてきましたので、幅広い提案ができると思っております。私が今まで培ってきたものを全てを活かして仕事に臨ませていただくので、お客様には安心して任せてもらえればと。ま

た、当社では一人の担当者が責任を持って、打ち合わせからお引き渡し、アフターフォローまで一貫して対応しておりますね。お客様の大切な住まいを「造る・守る」お手伝いを全力でさせていただいております。他にも、企業理念にある「報恩感謝」の気持ちを社員皆が持つており、それに則った行動を取るようになっていっています。社員と一致団結して、お客様に満足していただけるような仕事をすべく、皆で精進している毎日です。

—— お話からは、御社がいかにお客様目線で仕事を手掛けておられるのが窺えました。また、社長の仕事に懸ける熱い思いも伝わってきましたね。お話は尽きませんが、最後に今後のお考えについて、お聞かせ願えますか。

地域密着で事業を推進し、地域で一番の施工店を目指していきたいと思っております。長期的な目標としては現在ある住宅事業部とインテリア事業部の2つの部を、分社化しようという構想がありますね。そうして、今頑張ってくれている社員たちに、それぞれの会社のトップを担ってもらい、事業を継続・発展させてもらえればと考えています。「企業は人なり」という言葉があります。私ども会社とは、社員や協力してくれる職人たちがいてこそだと思っておりますので、これからも周囲の人たちとのつながりを大事に歩んでいく所存です。そうして共に働く仲間を増やしていくと共に、いつかはグループへと発展し、社員一人ひとりが今以上に、責任と誇りを持って仕事に臨める体制を整えていければと。そんな未来の形を見据えながら、今後も一歩一歩、着実に前進して参ります。

共に働く仲間との絆を何よりも大事に飛躍を遂げていく

▼「社員一人ひとりが元々持っている個性や長所を自由に出してもらえる場所を提供し、各人に足りない部分は皆で補ってあげれば良い」というのが、諏訪社長の考える理想の企業体制の一部だ。そうした仲間を大事にする考えは、『スワ企業グループ』という社名にも反映されている。「社名にグループと入っているのは色々な意味合いがあるのですが、一般的にイメージするような組織体制という『グループ』ではなく、私を助けて下さる人が集まって生まれたという『同士・集団』といったニュアンスが強いですね」と社長。こうも言葉を続ける。「私は社員や協力してくれる職人など周囲の人たちがいてこそ会社だと思っています」。社長は今後の長期的な目標として、同社をいずれグループ化していく考えを持っている。しかし、それは社の発展のみを追求してのことではないはずだ。冒頭の社長が考える企業体制を踏まえると、その真意は「グループ化することによって、今後出会う仲間の一人ひとりが活躍できる場を広めたい」というところにあるのだろう。

諏訪流、経営の極意

- 仲間を大事にする
- 報恩感謝の気持ちを持つ
- 顧客満足の追求